

2022年4月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa  
Physical Therapy Association  
News

P

4 2022  
April  
No.291

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 内田 賢一 ○編集 | 森尾 裕志  
○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数  
[2022.3.1現在] **5,871名**

## Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/ライフサポート部報告76報  
P4▶「第1回 会長と話をしよう」印象記 P5▶会長行動報告 P6▶新・生涯学習制度通信  
P8▶学会案内 P9▶県学会レター P10▶information P11▶編集後記 P12▶原稿送付先

## 巻頭言



## 県士会 50年の歩みに想いを馳せて

湘南医療大学保健医療学部 鶴見 隆正

2月5日に開催された「法人設立25周年・県士会創立50周年」の記念式典と記念講演会に参加して痛感したことは、神奈川県理学療法士会の草創期から発展期に尽力された先達の活動があつてこそ、今日の理学療法士界があり、私自身の「来し方」も成り立っていることでした。これらを再認識し、感謝の想いに浸ることができました。

谷島朝生先生（第二代県士会長）と井上保先生（第五代県士会長）による「神奈川県理学療法士会の50年の歩み〜どのように誕生し現在に至り、そして未来を見据えて今できること」をテーマにした記念講演会の動画は、県士会の継往開来の語り部コンテンツとして保存し、新人研修会などで「社会の中の理学療法士」の原点を伝達するコンテンツとして、是非とも活かしていただきたい。とくに谷島先生の講演の中で、第1回国家試験の可否結果に気遣いを馳せながら県士会設立に奮闘されたこと、そして新しい理学療法士という国家資格と従前の職制環境との調和に腐心された経緯は印象深く、神奈川PTイズムの原点のように響いてきました。同時に10年、20年先の理学療法士界を思い描き、専門職にとって不可欠となる学術研修システムを大きな活動の一つとして取り組まれ、そのエネルギーが昭和54年に第14回日本理学療法士学会を主催することになり、引き続き第28回学会、第49回学会と全国学会を3回も主催することに繋がったのでしよう。奇しくも翌日の第38回神奈川県理学療法士学会の渡邊学会長による基調講演では、理学療法の座標軸の原点を再確認する大切さを強調される内容で、上述の記念講演と重ね合わせ神奈川PTイズムとしての「創意と情熱」が伝わってくる有意義な2日間のWeb会議であったと感じています。

その一方で「こんなはずじゃなかった」「PTの先が見えない」などと将来の不安の声を発する理学療法士のこ

とが気掛かりとなっています。上述の先達の50年の活動や第38回神奈川県理学療法士学会の教育講演やシンポジウムなどから自身のキャリアデザインを見出してほしい。確かに医療現場の理学療法業務は、分刻みの単位制で仕分けられ、診療記録や承諾書、地域連携等の書類作成に追われているのが現状ですが、その中でも自身のPTマインドを大切に患者・家族の声なき声を読み解き、対象者の介護体制や就学・就労への介入などのICF的な支援にも関わってほしい。それにはリハ室の従来の枠から「飛び出す」視点と行動がポイントです。理学療法士は医療から地域生活までを支える専門職であることを今一度振り返り、市中の独居者や限界集落の生活者の課題を踏まえ、買物難民や交通難民などの支援に関わることは、町づくりの再興に繋がり、そのことが理学療法士の「社会力」としてICFに寄与すると考えます。きっと自身も対象者も社会も変わりはじめます。

50年は、長い道程の一つの通過点に過ぎない。士会員が互いに協力して、初心を忘れることなく「挑戦」「実践」「育成」のマインドを持ち続け、多くの患者・利用者様から感謝と信頼される理学療法士、県士会であることを期待しています。



著者とKPAニュース編集部メンバー  
左から下田、中尾、鶴見（著者）、森尾、中村

## 活動報告

## 復職支援事業 ～復職相談の試み～

ライフサポート部 寺尾 詩子

ライフサポート部  
活動報告 第76報  
職場環境を考える

「また働ける」「働きたい」という状況になった時、「ブランク長くて通用するのか・・・」「何から動き出せば・・・」「家庭は大丈夫か・・・」と不安で一歩を踏み出せてない方はおられませんか。ライフサポート部では、臨床現場での短期間の実務研修を行って復職支援事業を行ってきました。今はコロナ禍で実務研修は難しくなり、代わりに可能な範囲で相談を受け付けることにしました。今年度は、1件の復職相談を経験することができましたので、報告させていただきます。



## ■相談者

30歳代女性、夫、3歳と0歳のお子さんの4人暮らし。職歴はリハビリ病院で10年間勤務、その中で回復期リハ病棟、妊娠、訪問リハ、1年の育児休暇、育休からの復帰を経験。復帰後、育児で時間が制約されるなか、自分の役割を果たそうと奮闘するも空回り。適応障害となり退職。退職後通院を経て適応障害は回復、第2子の妊娠出産を経て、4月の復職を目指して7月に相談がありました。

## ■主な相談の内容

- ①働いていた時の患者さんや、自分の部活でのけがや妊娠経験を通して、予防の重要さを痛感。予防・産業界、産前・産後のケアに理学療法士として関わる仕事に興味をもち、従事したいと思っている。現状でそのような求人はなく、経験もない。子育てしながらということもあり、これまでの経験のある病院や訪問リハでの仕事で再就職を検討するしかないとも感じている。
- ②適応障害で退職となってしまい、復職後また同じようなことにならないか不安

## ■相談の経過

メールにて、具体的にこれまでの経験や、就職活動の状況を伺うことができ、その中で、就職活動自体は、元の職場の先輩への相談や人材バンクの利用、研修会の参加による知識の更新や人とのつながりも持っており、このまま進めてもらえれば大丈夫そうでした。一方で、働きたい分野の情報が少なく、そこまでの道筋が見えないことへのもやもやがあるように感じました。そこで、2人の仲間が思い当たり、Web相談会を企画しました。1人は訪問リハなどを経験し妊娠中のトラブルなどで退職、10年のブラン



クの後現在はウィメンズヘルスの分野で独立して復職されている大学生のお子さんをもつママさんと、2人目は仕事をしながら何人ものお子さんを育て上げた現役ベテランママさんです。ウィメンズヘルスの分野で働けるようになった経緯を聞いたり、今は興味のある分野で従事できなくても、研修会やその活動されている集まりに参加したりしてチャンスを広げていけることを共有しました。また、1歳前後のお子さんよりも3歳になるお子さんへの対応が復職して子育てと両立する時に大変になるからね、とベテランママさんだからこそそのアドバイスもあり、これからのキャリアに生かせる話がたくさん聞きました。

## ■相談事業を経験して

・・・相談者より・・・

専門職の第三者に相談でき、身内には言えない相談ができ、客観的なアドバイスがいただけたことは参加してよかった点です。中途退職の就職活動はわからないことが多く、適応障害で退職したため自信がなく不安も大きかったが、相談することで自信を持って就職活動ができ、就職先を決めることができました。今後の理学療法士としてのライフプランを考えるきっかけにもなりました。

・・・ライフサポート部より・・・

県士会の事業では職場の斡旋はできませんし、今はコロナ禍で実務研修もできない状況でしたが、少しでも役に立てたことはよかったと思いました。県士会での活動を通して、いろんな方とつながり、協力していただくことで、会員の皆様に還元できることがあると感じます。来年度も、コロナ禍のため相談事業のみとなりますが事業は継続予定です。一方で、このような支援事業があることを知らない、あるいは知っていても参加自体をためらう方もおられ、復職につながらないということもあるのではないかと考えています。広報や事業内容を模索しながら、できることを考え続けていきたいと思っています。



# (公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 第10回災害対策研修会が開催されました

災害対策委員会 下田 栄次

去る2022年1月29日(土)に、第10回「災害対策研修会」がオンラインにて開催されました。

新型コロナウイルス感染症「第6波」により、研修会場等における対面での研修会の開催が困難であったため、2021年度より新執行部となった本会理事・役員を中心に、事務局職員、ブロック長、エリアコーディネーターを対象としたオンライン研修会となりました。

「感染症対策を強化した避難所および福祉避難所運営における課題と本会の災害時連絡体制強化について」をテーマに、講義とディスカッションを行いました。昨年発災した「熱海市伊豆山地区土砂災害」では、局地災害であっても高齢化率の高い地域では、避難所や福祉避難所に避難している要配慮者と併せて、周辺地域全体の要配慮者に対する健康支援やモニタリングが必要であることが課題となりました。神奈川県内においても、高齢化率の高い地域では、平時より地域全体を俯瞰して捉える視点が必要であることが示唆されました。

今回の研修会では、内田賢一会長、露木昭彰副会長をはじめ、多くの理事の先生方にもご参加いただき、積極的

なディスカッションも行うことができました。そのなかで、2019年より継続して実施している県内12ブロック内の連絡体制の調査結果から抽出された課題と、課題の解決に向けた次年度以降のアクションプランを共有しました。

災害対策委員会は、今年度より新体制となり、「災害対策部」として大きく生まれ変わります。今後も感染対策に留意し、「新しい生活様式」に対応していきながら、県民や会員の皆様の安全を守る活動を担っていきたいと考えております。ホームページやSNSで研修会を含めた情報を随時発信していきたいと思っておりますので、引き続きご関心およびご協力のほどよろしくお願いいたします。

災害対策部ホームページ：

<http://pt-kanagawa-saigai.com/>

SNS (Facebook)：

[https://www.facebook.com/Kanagawa-Physical-Therapy-Association-Committee-of-Disaster-measures-610699599009636/?ref=page\\_internal](https://www.facebook.com/Kanagawa-Physical-Therapy-Association-Committee-of-Disaster-measures-610699599009636/?ref=page_internal)



研修会の様子



## 活動報告

# 「第1回 会長と話をしよう」印象記

箱根リハビリテーション病院 リハビリテーション科 後藤 茉莉子



内田会長直筆の封筒が職場に届き何か分からず少し怖かったのが最初の印象です。10名のみを送られた第1回目の招待状は貴重だと思い参加させて頂きました。

本会では内田会長の神奈川県理学療法士会への想い、私達新人理学療法士の声を取り入れようとする想いをとても感じました。内容は私達の理学療法士や理事会に対する想い等です。正直私は理事会が何か分からず、理学療法士会ニュースにはあまり目を通していませんでした。理由は堅苦しく私には関係のないイメージがあったからです。そう伝えたと内田会長はどうしたら読みたくなるか等、私達の意見に真摯に対応して

くださりました。直接会話をすることで本当に私達生の声を聴き、取り入れようとしてくださっている事、全会員にとってより良い理学療法士会を築いていく想いを感じました。理学療法士会の事は自分にあまり関係のないものと思いましたが、現在ではどんな取り組みをしているのか興味を持つ事ができ視野が広がったように思います。

また、入職当初から研修会はオンラインが当たり前だったため会員同士の繋がりを意識した事はありませんでしたが、本会を通して接点のなかった先生方と横の繋がりを持つ事ができとても貴重な経験だったと感じています。

この度はとても貴重な会にご招待頂きありがとうございました。新型コロナウイルス感染症が終息した際には是非、直接対面での「会長と話をしよう」でお会い頂けたら幸いです。

株式会社エヌ・エフ・エーは  
保険を通じて暮らしやビジネスを  
サポートします



株式会社 エヌ・エフ・エー

保険のトータルプランナー

〒110-0015  
東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階  
TEL.03-5818-0711 (代表) FAX.03-5818-0710  
<https://www.nfa-ins.co.jp>

## 有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い  
生活を手助けするものづくりを提供して参ります

〒247-0006 横浜市栄区笠間三丁目 40 番 5 号  
TEL045-892-5424 FAX045-894-2560 [www.kimura-gish.co.jp](http://www.kimura-gish.co.jp)





## 生涯学習部講習会につきまして

Zoomを用いたオンライン形式での開催を予定しております（e-ラーニングとは異なります）。

決定次第、随時、神奈川県理学療法士会のHP等でお知らせいたします。

注意事項、申込承認の際に送付されますメールを十分に御確認の上、御参加くださいますようお願いいたします。

月	日	内容	場所
12月	2日 (木)	第9回常任理事会	Web会議
	17日 (金)	TMI総合法律事務所の阿部洸三弁護士と打ち合わせ	県立大学
		神奈川県民医療推進会議	Web会議
	20日 (月)	分散システム技研合同会社(DSG)との50周年記念事業打ち合わせ	Web会議
	23日 (木)	第5回事業運営会議	Web会議
1月	5日 (水)	臨床実習指導者講習会神奈川県協議会会議	Web会議
	6日 (木)	PT協会斉藤秀之会長主催勉強会	Web会議
		第10回常任理事会	Web会議
	17日 (月)	分散システム技研合同会社(DSG)と記念式典配信打ち合わせ	Web会議
	22日 (土)	分散システム技研合同会社(DSG)と記念式典配信打ち合わせ	Web会議
	26日 (水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	Web会議
	27日 (木)	第6回事業運営会議	Web会議
31日 (月)	第1回「会長と話をしよう」	Web会議	
2月	03日 (木)	第11回常任理事会	Web会議
	05日 (土)	法人創立25周年・本会創立50周年記念式典	Web会議
	06日 (日)	第38回神奈川県理学療法士学会開会挨拶	Web会議
	22日 (火)	顧問弁護士との研修会事前打ち合わせ	Web会議
	24日 (木)	第6回理事会	Web会議

会長  
行動報告  
12月~2月

小田原地域の住民生活を支えるARSグループ

<p>通所介護・放課後等デイサービス</p> <p><b>Well</b></p> <p>小田原市久野469</p>	<p>通所介護</p> <p><b>ふらっと</b></p> <p>小田原市堀之内258-1</p>	<p>通所介護・小規模多機能</p> <p><b>ふらっと湯河原</b></p> <p>足柄下郡湯河原町土井1-13-3</p>
<p>訪問看護</p> <p><b>ARS訪問看護ステーション</b></p> <p>小田原市堀之内258-1</p>	<p>旧寄中学校利活用</p> <p><b>なないろポケット</b></p> <p>足柄上郡松田町寄2549</p>	

**職員募集中！お気軽にお問い合わせください**

**ARS**  
 有限会社足柄リハビリテーションサービス

女性活躍推進優良企業  
ゴールドステージ認定

本社  
〒250-0853 神奈川県小田原市堀之内258-1-102  
TEL：0465-39-3730（月～金 / 8:30～17:30）  
MAIL：ars.head-2531@bz03.plala.or.jp

https://ashigara-reha.jp/

## 活動報告

## 新・生涯学習制度通信

(公社) 神奈川県理学療法士会 新人教育部 部長 藤田 峰子  
学術局担当理事 木村 充広

## 会員の皆様へ

2022年4月より、“新生涯学習制度”がいよいよスタートしました。公益社団法人神奈川県理学療法士会（以下、本会）では、会員の皆様に迅速かつ正確な情報をお届けすることに務めてまいります。

制度の詳細に至っては、公益社団法人日本理学療法士協会（以下、協会）からの情報をもとに鋭意準備を進めてきたところでありますが、部分的に遅延が生じております。順次、本会ホームページ、ニュース等で情報公開してまいりますので、ご自身の新制度での位置、資格更新年度をご確認いただき、履修に向けた準備をよろしくお願いたします。なお、新制度における登録理学療法士取得までの説明スライドを本会ホームページに掲載しておりますので併せてご参考にしていただければと存じます。

## 1. 協会ホームページでの立ち位置、資格更新年度を確認

- 協会ホームページの「生涯学習」→「新生涯学習制度について」→「新生涯学習制度への移行（ページの下段ですので、スクロールしてください）」→移行後のご自身の位置づけが簡単に分かる「診断ツール」で、新制度開始時のご自身の位置を確認してください。前期研修履修中、後期研修履修中、登録理学療法士取得済みなどが「診断結果」として表示されます。
- 認定理学療法士、専門理学療法士取得者は、新制度移行後の更新時期を協会ホームページで確認してください。

## 2. 前期研修の履修が必要な会員へ

- A：初期研修、B：理学療法の基礎、C：理学療法の専門性、D：実地研修を受講します。
- 上記1.の診断結果にあわせて履修が必要なテーマを履修します。
  - A～Cまではe-ラーニングによる受講が可能です。（本会ではCOVID-19の感染状況を鑑み対面研修の開催を休止しております）受講方法は協会マイページ、「研修会・学術大会」から受講登録を行います。
  - D：実地研修については、常勤または非常勤の実地指導者（登録理学療法士）がいれば、自施設にて研修が可能です。また、自施設独自の新人職員プログラムでの研修が可能ですので、別途システムを構築する必要はありません。

せん。自施設での実地研修受講であっても、マイページからの受講申請が必要ですので注意をしてください。

- 新入職員研修プログラムを持たない施設は、協会が示す「新人研修ガイドライン」に準拠し実施します。その他の会員については、協会HP、「新生涯学習制度」→「登録理学療法士の取得」→「前期研修について」のD-2を参照してください。

## 3. 後期研修の履修が必要な会員へ

- A：臨床推論、B：臨床疫学、C：領域別研修（座学）、D：関連領域、E：領域別研修（事例）、E：領域別研修（育成）、F：最近の知見を履修します。
- 上記の診断結果にあわせて履修が必要なテーマを選択し受講します。
  - A～DとEの領域別研修（育成）、さらにFについてはe-ラーニングによる受講が可能です。受講方法は協会マイページ「研修会・学術大会」から受講登録を行います。
  - E：領域別研修（事例）については、士会主催症例検討会または、士会承認症例検討会での発表または聴講で単位が取得できます。「士会主催症例検討会」とは、士会が開催するものを示し、「士会承認症例検討会」は、各職場や地域で任意に企画され、士会の承認を受け開催するものをとします。「士会承認」の場合、座長（登録理学療法士）が士会に事前に開催申請し、履修登録までを協会が示すマニュアルに沿って行います。（令和4年4月以降、マイページから研修会の企画が可能となります）1症例につき30分以上となっていますので、注意してください。（士会主催症例検討会は現在準備中です。今後本会ホームページ、ニュースなどに本年度の開催日程を掲載いたします。）

## 4. 登録理学療法士の会員へ

- 5年ごとの更新が必要になります。
- 初回時更新には50ポイントが必要になります。設定されている「カリキュラムコードに準じた学習での取得等」により更新に必要なポイントを取得し要件を満たすことで自動更新となります。
- 「研修会・講習会、ワークショップの受講等の受講」には、「協会・士会・ブロック協議会主催」と、「士会が承認した会員所属施設主催」の2区分があります。「士会が承認



した会員所属施設主催」の研修会・講習会、ワークショップは、主催者（登録理学療法士）が企画し、土会の承認を受けることで職場単位での研修会開催が可能となります。2022年4月以降、マイページから研修会開催の申請が可能となります。

（土会主催研修会・講習会、ワークショップは現在準備中です。今後本会ホームページ、ニュースなどに本年度の開催日程を掲載いたします）

## 5. 認定理学療法士・専門理学療法士の会員へ

- 更新については、COVID-19の影響にて当初の有効期限を延期し、2年間の猶予を期限付きで設定しています。各自で必ず確認してください。

([https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/nintei\\_senmon\\_koushinnendo200907.pdf](https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/nintei_senmon_koushinnendo200907.pdf))

- 2018年度または2019年度入会で、認定理学療法士を取得された方は、登録理学療法士に関する研修の不足（未履修）分を別途履修する必要があります。
- 認定理学療法士、専門理学療法士の資格を取得されている会員におかれては、登録理学療法士の資格保持がその前提条件となりますので、登録理学療法士更新手続きを認定・専門の更新と並行して進めてください。

## 【認定理学療法士の育成をあなたの施設で！】

次年度よりスタートする新生涯学習度での認定理学療法士の新規取得にあたっては、全国各地に設置された教育機関で臨床認定カリキュラムを受講し、受験資格の1要件を満たすことが必要となります。この度、日本理学療法士協会は、臨床認定カリキュラムを実施する教育機関の公募を開始いたしました。

### ■詳細はこちら

[https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/nintei\\_curriculum/](https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/nintei_curriculum/)

本教育機関は、病院、大学、専門学校、株式会社等の応募が可能であり、多様な組織で開講されることを想定しています。認定されると、より水準の高い理学療法士を育成する施設として協会ホームページ等に公開し、協会より認定証が発行されます。

なお、教育機関の申請については協会のホームページで確認できます。

### ●問い合わせ先

公益社団法人日本理学療法士協会 事務局  
教育推進課  
E-mail : shougai@japanpt.or.jp

## 現制度の認定理学療法士・専門理学療法士の更新

### <基本的な考え方>

- 現制度での認定理学療法士・専門理学療法士は、新制度においても認定理学療法士・専門理学療法士を維持する
- 認定理学療法士・専門理学療法士の現制度での努力研鑽を可能な限り、不利益なく移行する配慮をする
- 2020年度の研修会等の受講機会が減少した状況を鑑み、下表の通り、有効期限を延期する
- 新制度での更新は、下表B～Fの取得者のみ2年間の猶予をもたせる

### <対象者と更新年度>

取得または更新年月日	本来の更新年度	新たな更新年度	現行制度・新制度
A. 2016年4月1日	2020年度	2021年度	現行制度で更新
B. 2017年4月1日	2021年度	2022・23年度	新制度で2年以内に更新
C. 2018年4月1日	2022年度	2023・24年度	新制度で2年以内に更新
D. 2019年4月1日	2023年度	2024・25年度	新制度で2年以内に更新
E. 2020年4月1日	2024年度	2025・26年度	新制度で2年以内に更新
F. 2022年4月1日	2026年度	2026・27年度	新制度で2年以内に更新
G. 2022年4月1日 ※2018・2019年度入会者	2026年度	登録理学療法士取得 年度による	新制度で更新

※2020年度のCOVID-19による申請延期に伴い、2021年4月1日の取得・更新者はいない



## 学会案内



# 第41回関東甲信越ブロック理学療法士学会のお知らせ

関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会

### 【テーマ】

新しいスタンダードの構築に向けて  
—令和の理学療法の進み方—

### 【日時】

2022年9月10日（土）～11日（日）

### 【会場】

日本教育会館及びWeb（ハイブリッド開催）

### 【学会長】

林 弘康（八王子保健生活協同組合城山病院）

### 【参加申込期間】

2022年6月からを予定

### 【一般演題】

発表形式：Webでの発表及び質疑

演題募集期間：2022年3月1日（火）～4月27日（水）

### 【講演】

#### ○基調講演（ハイブリット）

テーマ：「リハビリテーション医療の未来  
—理学療法士に求められる新しいスタンダード—」

講師：安保雅博  
東京慈恵会医科大学リハビリテーション  
医学講座主任教授

#### ○公開講座（オンデマンド）

テーマ：社会に役立つ理学療法士（仮）

講師：斉藤秀之  
公益社団法人日本理学療法士協会会長

#### ○教育講演（ハイブリット） 10講演

神経系 運動器 教育管理 呼吸 栄養嚥下 糖尿病  
循環器 オリパラ 臨床実習 学校保健

#### ○新人研修（ハイブリット） 4講演

領域 クリニカルリーズニング（運動器、中枢神経）  
臨床研究の進め方 感染対策

\*会場講演では若手理学療法士の疑問に応えるべく寺子屋形式の質疑応答時間を設けています

#### ○教育講演（オンデマンド） 10講演

日本理学療法士協会 サルコペニア 物理療法 腰痛  
PTのメンタルヘルス 地域に関わるPT 誤嚥性肺炎  
がんに対する理学療法 透析の理学療法  
ニューロリハビリテーション

#### ○ソウル市理学療法士会招聘講演

一般演題の投稿規程や参加申し込み方法、プログラムの詳細等は順次本学会HPで公開していきます。各自確認の上、参加をお持ちしております。

学会HP：<https://www.gakkai.co.jp/kanbloc41/index.html>



学会HPのQRコード

### 【主催】

日本理学療法士協会 関東甲信越ブロック協議会

### 【担当】

（公社）東京都理学療法士協会

### 【問い合わせ先】

運営事務局  
株式会社 学会サービス  
E-mail：[kanbloc41@gakkai.co.jp](mailto:kanbloc41@gakkai.co.jp)







## 第38回神奈川県理学療法士学会が無事に閉会しました

2022年2月6日に開会した第38回神奈川県理学療法士学会は、2月28日に無事に閉会することができました。2回目のWeb形式での開催となり対面ではない寂しさがあった反面、いつでもどこからでもアクセスできる多様性を確かなものにできた学会でもありました。この経験は今後の学会運営にも少なからず良い影響を及ぼすと思います。

ご参加頂いた会員の皆様、ご指導、ご協力を頂いた皆様、準備委員一同より重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

2022年3月14日

第38回神奈川県理学療法士学会会長 渡邊宏樹

### 第38回神奈川県理学療法士学会 学会長賞審査結果

2022年2月6日（日）～2月28日（月）開催の第38回神奈川県理学療法士学会の学会長賞におきまして厳正なる審査を行い、以下の結果となりました。

#### 学会長賞

デュシャンヌ型筋ジストロフィー症者に対する単身生活支援の報告

佐藤 遥（横浜市総合リハビリテーションセンター地域リハビリテーション部地域支援課）

#### 優秀賞

下肢装具と免荷式歩行器を使用した介入により

歩行能力が改善した急性運動性軸索型ニューロパチーの一例

吉川 大志（汐田総合病院リハビリテーション課）

#### 奨励賞

腰部脊柱管狭窄症を呈し、右第2趾背側部に歩行後痛を生じた症例～股関節への介入～

友松 貴一（佐藤病院リハビリテーション科）

在宅要介護高齢者における基本的日常生活活動の改善に関わる身体運動機能の特徴

星 知輝（湘南東部総合病院リハビリテーション科）

本学会の実施にあたり、ご理解・ご協力を賜りました皆様に厚くお礼申し上げます。

2022年3月14日

神奈川県理学療法士会学術大会部 渡辺武宏



## 日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

\*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

\*ID・パスワード再発行は「マイページ」（ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

### 【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局

## 楽天カードへの手続きはお済みですか？

### ☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
  - 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
  - 書籍購入（一部割引）等が可能となります。
- \*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

### ～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

\*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

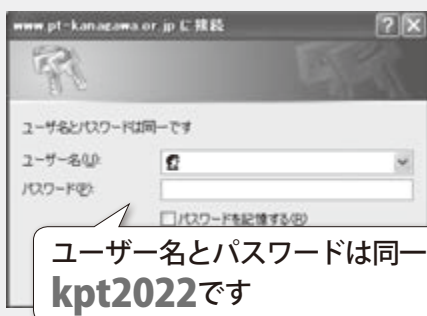
## 楽天カード更新に伴うマイページ情報更新はお済みですか？

\*マイページに登録されている楽天カード情報と、お手元のカード番号・有効期限・名義が相違していないことをご確認ください。

\*楽天カードの有効期限切れに伴い、新しいカードがお手元に届いた方は、マイページのカード情報の更新をお忘れなく行って下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局

## アクセス認証のパスワードが変更になります！



### 2022年4月1日からパスワードが変更します

(5月1日までは旧パスワード kpt2021 でも閲覧可能)

本会ホームページの会員ページの(※アクセス)認証ありと表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

## 編集後記

4年間お世話になった編集部を卒業します。第1号発刊が1971年とのことなので、50年以上続いているコンテンツの一部を担ったことを嬉しく思います。先般の創立50周年記念式典では歴代会長の講話があり、職種内外での軋轢に苦労されたことを知りました。また、巻頭言の鶴見隆正先生からも県士会黎明期の苦悩や未来への提言を伺うことが出来ました。このKPAニュースも様々な人たちの支えで成り立っていたことを改めて実感しています。編集部を卒業することになりますが、これからも、先人達が残したマイルストーンを活かし、理学療法の発展、および社会貢献活動を継続していきたいと思っています。ありがとうございました。(森尾裕志)

気が付いたらもう4年間もKPAニュースに携わせて頂きました。慣れるまでは紙面の校正作業など、かなり大変なこともありました。しかしながら、みなさんのいろんな思いが集まったKPAニュース、それを作成することの楽しさも感じていました。緊急登板ではありましたが、巻頭言まで担当させて頂き、本当にいい経験となりました。この4年間での思い出は、規約を改正し、PT以外の方に巻頭言を書いてもらえるようにしたこと。そして、私の担当患者であった、フットサル選手の故・久光重貴さんに巻頭言を書いてもらいました。タイトルは『笑顔の先に繋がる笑顔』（2019年7月号；No.280）でした。理学療法士という仕事をもう一度考える良い機会となったことを思い出します。(中尾陽光)

ニュース編集部の部員として、本会の定期的な刊行物に携わせていただいて、早いもので任期満了となる4年が経ちました。この間、理学療法士を取り巻く環境は、劇的に変化していったように思います。理学療法士作業療法士養成施設指定規則の改正による新カリキュラムの適用から、様々な気象災害、COVID-19、TOKYO2020、新生涯学習制度の開始。そしてPT協会や本会もこの4年間で新執行部が変わり、新たなグランドデザインを示してくれています。我々が社会から求められている役割は常に変化しています。そのニーズに対して、応えられるような情報発信ができたのか、今一度振り返りながら、次のメンバーにバトンを託したいと思います。4年間ありがとうございました。(下田栄次)

ニュース編集部のお仕事をさせて頂くことになった年に産まれた娘が4歳になり、最近では小さい自転車を立ちこぎしています。年齢の近い兄がいるためか、たくましく育っています。ニュース編集部としての4年間を振り返ると、初めは慣れないことが多く作業をこなすことで精一杯でした。しかし、今では会員の方の手に届く貴重な紙面情報として、少しでも工夫が出来ないかと思いを凝らすようになりました。ニュース編集部の部員としての関わりが、私を成長させる環境因子となっていたことに気付かされた今日のごろです。まだまだ立ちこぎができる程ではありませんが、ニュース編集部のお兄さんに感謝しつつ、さらなる邁進を続けたいと思います。(中村壽志)

 神奈川県理学療法士会

神奈川県理学療法士会の  
公式アカウントができました。

研修会やイベントなどの情報を  
LINEでお届けします！

@720prcny

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか  
QRコードをスキャンしてください



◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：宮澤俊介 (M's PT Conditioning)  
(旧体制)

部長：森尾裕志 (湘南医療大学)  
部員：中尾陽光 (湘南医療大学)  
下田栄次 (湘南医療大学)  
中村壽志 (湘南医療大学)

(新体制)

係長：武田正一 (横浜リハビリテーション専門学校)  
委員：上垣亮太 (横浜リハビリテーション専門学校)  
草場彩子 (湘南鎌倉総合病院)

次号の原稿締め切りは**2022年6月1日**です。  
岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校 理学療法学科 (ニュース編集部宛)  
**news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp**  
(原稿は添付ファイルをお願いいたします)

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。  
円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

# 総 会 告 示

## 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 第43回定時総会

日 時：2022年**6月19日**(日) 10時30分～12時00分

会 場：Zoomウェビナー

総会に出席できない場合は、必ず委任状か議決権行使書を提出して下さい。

PT・OT・STのための  
総合オンラインセミナー  
**リハノメ**

法人様向け  
プランのご用意も  
しております

資料請求  
好評受付中

1ヶ月見放題プラン

通常料金 3,080円が初回限定で…

# 980円

※表記価格は税込み料金です。

リハビリテーションを  
『かたち』にする会社

gene

お問い合わせ  
はこちら

seminar@gene-llc.jp  
Tel.052-325-6611

豪華講師陣がご登場！

理学療法士 / さとう整形外科  
赤羽根 良和 先生

理学療法士 / 国際医療福祉大学大学院  
医療福祉学研究所  
福祉支援工学分野 教授  
石井 慎一郎 先生



義肢・装具 整形靴・特殊靴

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

## SP-I 湘南義肢研究所

気分の上がる最適な  
装具をお届けいたします。



Facebook 始めました。最新情報載せてます！

日本義肢協会会員登録番号関東108(有)湘南義肢研究所 〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町 27  
TEL046-822-6722 FAX046-822-6425 <https://www.sp-i.net>